

PRESS Release
報道関係各位

2018年（平成30年）11月6日
東京キャラバン広報事務局

12月の創作ワークショップで育んだ新たな創造の“種”が、秋田ふるさと村・ドーム劇場で花開く!!

東京、秋田、熊本のスゴい文化の表現者が出会い、生み出す新しいパフォーマンス

「東京キャラバン in 秋田」開催

パフォーマンスのテーマは“禁断の恋”! 日時：2019年2月16日（土）、17日（日） 各日16:30～
観覧無料 事前申込制※1 場所：秋田ふるさと村・ドーム劇場（秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46）

〈創作の現場を特別公開!!〉公開ワークショップも12月に実施決定

① 2018年12月8日（土）13:00～17:00 男鹿市民文化会館・小ホール

② 2018年12月9日（日）13:00～17:00 秋田市民交流プラザALVE・きらめき広場

観覧無料

申込不要

「東京2020オリンピック・パラリンピック」の公認文化オリンピックアド※2のひとつである「東京キャラバン」。今回は、2019年2月16日（土）と17日（日）の2日間、秋田ふるさと村・ドーム劇場にて、「東京キャラバン in 秋田」を開催いたします。

「多種多様なアーティストたちの“文化混流”から生まれる新たな表現」をコンセプトに、「東京キャラバン」の総監修を務める野田秀樹と、東京、秋田、熊本のスゴい文化を表現するアーティストらが秋田に集結。この2日間しか観ることのできないパフォーマンスを披露します。また、それに先駆けて、パフォーマンスの創作の現場であるワークショップを2018年12月8日（土）と9日（日）に特別に公開します。アーティストたちの“文化混流”と新しい表現が生まれる瞬間に、是非立ち会ってみてください!

東京、リオデジャネイロ、東北、京都、熊本、豊田、高知を旅して、数々の“わくわく”と“どきどき”を生み出してきた“旅する文化ムーブメント”は、ここ秋田でさらに進化します。どうぞご期待ください。

*1事前申込制：各日定員500名程度、応募多数の場合は抽選となります。応募方法は次ページをご参照ください。



① 東京キャラバン in 京都・亀岡ワークショップ、②③ 東京キャラバン in 京都・二条城パフォーマンス（2017年）撮影：井上嘉和

総監修・野田秀樹（劇作家・演出家・役者）よりコメント

恋も創作も“やめられない”という気持ちがあつてこそ花開く。古今東西の魅力的な恋物語は“禁断の恋”が源だ。だが今やこの世では表向き“ちゃんとした”国、“ちゃんとした”街、“ちゃんとした”人になろう!と叫ばれている。禁断のモノは、隅に追いやられる。だが時に隅にこそ、創作の故郷がある。芸能の原点とも言える「ヤバイものを見る」という“覗き見”の精神で、たくさんの方々に参加してもらいたい。

*2：東京2020文化オリンピックアドとは、オリンピック憲章と東京2020大会の大会ビジョンのもと開催される文化の祭典。文化芸術や地域での世代を越えた活動などを未来につなぐプログラムです。「東京キャラバン」は大会組織委員会から「東京2020公認文化オリンピックアド」として認証を受け、実施しています。

平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
文化庁

東京キャラバン公式WEBサイト：<http://tokyocaravan.jp>

本リリースに関するメディアお問い合わせ先：東京キャラバン広報事務局

担当：佐藤真知子 070-1639-9609、大和、矢島 TEL：03-6894-3211 Email：press@tokyocaravan.jp

「東京キャラバン in 秋田」公開ワークショップ

東京、秋田、熊本のスゴい文化を表現するアーティストたちが出会い、2019年2月に開催するパフォーマンスに向けての創作ワークショップを行います。その模様を自由にご覧いただける、またとない機会です。

日時・会場：2018年12月8日（土）13:00～17:00 男鹿市民文化会館・小ホール
（秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り2号14-5）
2018年12月9日（日）13:00～17:00 秋田市民交流プラザALVE・きらめき広場
（秋田県秋田市東通仲町4-1）

観覧：無料、事前予約不要、出入り自由

「東京キャラバン in 秋田」パフォーマンス

公開ワークショップで育んだ新たな創造の“種”が、秋田ふるさと村・ドーム劇場のステージで花開きます。果たして何が生まれ、何が飛び出すのか？東京キャラバンでしか観ることのできない貴重なパフォーマンスを、是非とも“生”で体験してください！

日時：2019年2月16日（土）、2月17日（日）各日16:30～ ※雨天決行・荒天中止
会場：秋田ふるさと村・ドーム劇場（秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46）
観覧：無料、事前申込制・多数の場合は抽選（各日定員500名程度）
※当日席は若干数をご用意します。詳細は後日WEBサイトで公開します。

応募方法：往復はがき下記必要事項を記入して、秋田県文化振興課までお送りください。
【往信あて先】〒010-8572 秋田市山王3-1-1 秋田県文化振興課
【往信文面】

1) 応募者の ①氏名(ふりがな)②郵便番号③住所④電話番号⑤性別・年齢
⑥同伴者の氏名(ふりがな、1名まで)

2) 観覧希望日（2月16日、17日のいずれか）

※ 両日とも同プログラムです。

※ 座席のご指定や変更はできません。車いす席をご希望の方はご記載ください。

【返信あて先】応募者の住所、氏名（返信文面には何も記入しないでください。）

<注意事項>

- ご応募は往復はがき1枚につきいずれか1日限り、お一人様につき1回お申込みが可能です。両日の申し込み及び同じ日の複数申し込みはできません。応募者多数の場合は抽選となります。
- お申込みいただいた方には返信はがきで結果をお知らせします（2月上旬予定）。当選された方は当日はがきをご持参ください。
- 参加資格の譲渡・転売はできません。入場の際、本人確認をする場合がありますので、身分証明書をご持参ください。
- 提供いただいた個人情報は、本事業に関する業務以外の目的では使用いたしません。

応募締切：2019年1月25日（金）必着

応募に関する：秋田県文化振興課 018-860-1530（平日9:00～17:00）

お問い合わせ

参加アーティスト：野田秀樹、チャラン・ポ・ランタン（アーティスト）、“東京キャラバン”アンサンブル、秋田市竿燈会、男鹿のなまはげ、二代目浅野梅若、山鹿灯籠踊り保存会 ほか

総監修：野田秀樹（劇作家・演出家・役者）

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、秋田県、横手市

事業協力：公益財団法人熊本県立劇場

問い合わせ先：info@tokyocaravan.jp

その他：※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。

※「東京キャラバン in 秋田」をより多くの方に観ただけよう、公式WEBサイトにライブ中継いたします。

※詳しくは、WEBサイトをご覧ください。http://tokyocaravan.jp



『国民文化祭あきた2014』開催以降、秋田では文化を巡る旅が続いています。秋田には『秋田の竿燈』や『男鹿のなまはげ』をはじめとした文化資源が数多くあり、こうした資源が東京キャラバンの開催を通じ、野田さんや多彩なアーティストと出会い“文化混流”することにより、どのような文化ムーブメントが起こり、新たな旅が始まるのか、今からワクワクしています。参加する秋田のアーティストにとって、貴重な体験になることはもちろん、2020年以降に向けて、秋田の文化力を高める取り組みになることを期待しています。冬の秋田で開催される幻想的かつエネルギッシュなキャラバンをどうぞお楽しみください。 ー秋田県よりー

「東京キャラバン」が紡ぐ『物語』

「東京キャラバン」は 2015年を皮切りに、これまでに多くのアーティストを巻き込み、**日本全国から地球の反対側（リオデジャネイロ）までを巡り、展開してきました。**各地のパフォーマンスを率いるリーディングアーティストが地域の伝統芸能の担い手やアーティストらとともに、新しい表現を探り、ひとつのパフォーマンスを創作しています。

また「**演者が試行錯誤し、ぶつかり合う姿から、物作りへの興味を持ってもらえたら**」という願いから、創作過程となるワークショップも公開。それぞれ異なる存在感を放つアーティストが交わり、やがて全体がひとつの大きなうねりとなっていく。そんなワークショップの様子を目撃した観覧者からは「**文化が生まれる瞬間に立ち会うことが出来た**」との声が多数寄せられています。

人間の創造力と肉体が生み出す新たな“文化”の面白さを、多くの人々に生で伝え、見たことのないパフォーマンスに“どきどき”・“わくわく”してもらおうという文化の種蒔き。

それが「東京キャラバン」が紡ぐ『物語』であり、このプロジェクトの最大の醍醐味なのです。

全国各地でのキャラバンを経て、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開会を迎えるとき、「東京キャラバン」が東京2020大会の遺産（レガシー）として、未来へと続く文化活動のプラットフォームになることを目指し、活動していきます。

2015年 ～プロローグ～“旅立つ前夜”

駒沢 10/8 (木) -10/10 (土)

2016年 ～地球の反対側へ～

リオデジャネイロ 8/18 (木) -8/21 (日)

東北・仙台 9/3 (土) -9/4 (日)

東北・相馬 9/17 (土) -9/18 (日)

六本木 10/21 (金) -10/22 (土)

2017年 ～日本全国へ～

京都・亀岡 8/19 (土) -8/20 (日)

京都・二条城 9/2 (土) -9/3 (日)

八王子 9/9 (土) -9/10 (日)

熊本 10/9 (月・祝) -10/13 (金)・10/15 (日)

2018年 ～さらに日本全国へ～

豊田 7/22 (日)

高知 9/16 (日)

秋田 2/16 (土) -2/17 (日)

2019-2020年の開催候補地

北海道、いわき市、川越市、

富山県 ほか



総監修：野田秀樹（劇作家・演出家・役者）



1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督。多摩美術大学教授。

東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後、「NODA・MAP」を設立し、『キル』『オイル』『THE BEE』『エッグ』『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』歌舞伎『野田版 桜の森の満開の下』『One green bottle』など時代に抗を穿つ作品を次々と発表。海外での創作活動や、歌舞伎、オペラも手掛け、国内外で高い評価を得る。

2015年より『東京キャラバン』の総監修を務め、「人と人が交わるところに文化が生まれる」をコンセプトにした文化サーカスを日本各地で展開。コンセプトに賛同する多種多様な表現者らと、文化「混流」による独自のパフォーマンスを創作、発表し多くの観客を魅了した。2018年9月～11月NODA・MAP『鷹作 桜の森の満開の下』を東京、フランス、大阪、北九州で上演する。表現のジャンル、国境を越え、精力的に創作活動を行っている。

「必要なのは、今、2020年にむけての『物語』、そして、その『物語』が2020年を超えても続いていけるような、そんな『物語』を作ることはできないのか？1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がいよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。

今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような『物語』を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの『物語』を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中からしか、壮大な物語は生まれないと。思。 (中略) そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化＝ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。

インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」

野田秀樹（「東京キャラバン」構想より）

「東京キャラバン」とは？

「東京キャラバン」は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の文化プログラムを先導する東京都のリーディングプロジェクトとして、2015年に始まりました。劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを超えて、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げ、それぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを各地で展開しています。

2015年の東京・駒沢に始まり、2016年、リオデジャネイロ、東北（仙台・相馬）、六本木、2017年は京都（二条城・亀岡）、八王子、熊本にて、松たか子（女優）、中納良恵／EGO-WRAPPIN'（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師）など芸術文化界で活躍する様々な著名人が参加し、それぞれの圧倒的なパフォーマンスで40,200人以上の観覧者を魅了しました。

2017年度からは「東京2020公認文化オリンピアド」として本格始動し、日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）の中から立候補を募り、共感いただいた44の地域から、開催候補地を選出し、**2018年度は豊田（7月）、高知（9月）、秋田（19年2月）での実施が決定しました。**豊田では近藤良平（振付家・ダンサー・「コンドルズ」主宰）が、高知では木ノ下裕一（ドラマトルク・「木ノ下歌舞伎」主宰）が指揮を執り、各地の文化の担い手やアーティストたちとともに「東京キャラバン」でしか観ることのできない新しいパフォーマンスを創出しました。そして、今回、秋田で総監修・野田秀樹が創作します。今後さらに全国各地で「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を超えた交流を継続的に図ることで、東京2020大会以降の文化的な基盤を創っていきます。

東京キャラバン公式WEBサイト：<http://tokyocaravan.jp>



東京キャラバン in 高知（2018年）撮影：石川拓也



東京キャラバン in 豊田（2018年）撮影：三浦知也



東京キャラバン in 京都（2017年）撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 京都（2017年）撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 熊本（2017年）撮影：宮井正樹



東京キャラバン in 熊本（2017年）撮影：宮井正樹

●「東京キャラバン in 豊田」および、「東京キャラバン in 高知」オフィシャル写真については、広報事務局までお問い合わせください。

本リリースに関するメディアお問い合わせ先：東京キャラバン広報事務局

担当：佐藤真知子 070-1639-9609、大和、矢島 TEL: 03-6894-3211 Email: press@tokyocaravan.jp